行政評価シート（事務事業評価）

評価年度	２７年度

事業名	サッカーフェスティバル開催事業費	担当課	教育課
細分化した事業名	武田の里にらさきサッカーフェスティバル		

１　計画（ＰＬＡＮ）：事務事業の計画的位置づけ

第６次長期総合計画での目的体系	基本方向	魅力あふれるまちづくり
	政策	いつまでも生きがいを持って暮らせるまちづくり
	施策	スポーツ活動の充実
関連する個別計画等	スポーツ推進計画	根拠条例等

２　計画（ＰＬＡＮ）：事務事業の概要

事業の目的	本市のキャッチフレーズのひとつである「サッカーのまち韮崎」を一層広くＰＲすると共に、サッカーを通じた交流等深め、まちづくりの一助とする。
事業の手段	・サッカーフェスティバル実行委員会の主管事業。 ・小学生、中学生、高校、女子、シニアと大会を５つのカテゴリーに分け、リーグ戦や順位トーナメント方式により勝敗を決める試合形式を取り、県内外から多くのチームを集めて開催している。 ・韮崎中央公園などの市内５会場において実施
事業の対象	武田の里にらさきサッカーフェスティバルへの各カテゴリー参加選手

３　実施（ＤＯ）：投入費用及び従事職員の推移（インプット＝費用＋作業）

		24 年度	25 年度	26 年度
Ａ　事業費　(千円)		2,667	3,032	2,541
財源内訳	国・県支出金			
	その他（使用料・借入金ほか）			
	一般財源	2,667	3,032	2,541
Ｂ　担当職員数（職員 E）　(人)		0.20	0.20	0.20
Ｃ　人件費(平均人件費×E)　(千円)		1,338	1,299	1,359
Ｄ　総事業費(A+C)　(千円)		4,005	4,331	3,900

主な事業費用の説明	プログラム印刷費、仮設テントリース費、会場使用料

注）平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した 24 年度（6,687 千円）,25 年度（6,491 千円）,26 年度（6,794 千円）を使用しています。

４　実施（ＤＯ）：事業を数字で分析（アウトプット＝事業量）

		指標名	指標の算出方法	実績値 24 年度	実績値 25 年度	実績値 26 年度
活動指標	1	参加チーム数	全カテゴリーの参加チーム数	64	72	61
	2	市内チーム数	全カテゴリーの市内チーム	11	11	11
	3	試合数	全カテゴリー合計試合数	143	202	133

妥当性		□ Ａ 妥当である　■ Ｂ ほぼ妥当である　□ Ｃ 妥当でない
上記活動指標と妥当性の説明	1	数多くのチームが参加する大会となっている。
	2	参加チームの大多数は県外チームであり、幅広い交流を図る場となっている。
	3	市内５会場を活用し、多くの試合を開催している。

5　評価（CHECK）：　事務事業評価　（アウトカム＝成果・効果）

		指標名	指標の算出方法	実績値 24年度	25年度	26年度
成果指標もしくはまちづくり指標	1	県外参加チーム割合	県外参加ﾁｰﾑ数÷全参加ﾁｰﾑ数（%）	82.8	84.7	82.0
	2	1試合当たりコスト	総事業費÷試合数（千円）	28	21	29
	3					

成　果		□ A 上がっている　□ B ほぼ上がっている　■ C 上がっていない
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	県外チームが多く参加し、市内チームとの交流が図られているが、競技力が向上しているかは不明である。
	2	1試合当たりのコストが増加している。
	3	

事務事業総合評価	□ A 期待以上に達成　■ B 期待どおりに達成　□ C 期待以下の達成

6　改善（ACTION）：今後の事務事業の展開

今後の事業展開	□ 拡大（コストを集中的に投入する） ■ 全部改善（内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要） □ 廃止（廃止の検討が必要） □ 一部改善（事務的な改善を実施する） □ 縮小（規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する）
事務事業の改善案	改善の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか） 27年度の改善計画（今後の事業展開説明） ・現在、実行委員会が主管しているが、事業実施主体について委託を含めて来年度までに検討する。 ・当初の目的が競技力の向上であり、現在の試合形式について来年度までに検討する。 ・中学校、小学校、高校、女子の部を 7 月の各週末に開催しているが、試合日程により芝生管理に支障が出る可能性があり、日程について来年度までに検討する。
過去の改善経過	平成16年度（第24回）よりシニアの部開催。 平成22年度（第30回）記念大会開催。 平成25年度（第34回）小学生の部をU-11、U-12にて開催。 平成26年度はインターハイもあり、日程を調整。
課長所見	まちづくりをうたうには、PR力に課題があるため、一層の改善を要する。